令和５年度　仙台市若林障害者福祉センター防災訓練を実施しました

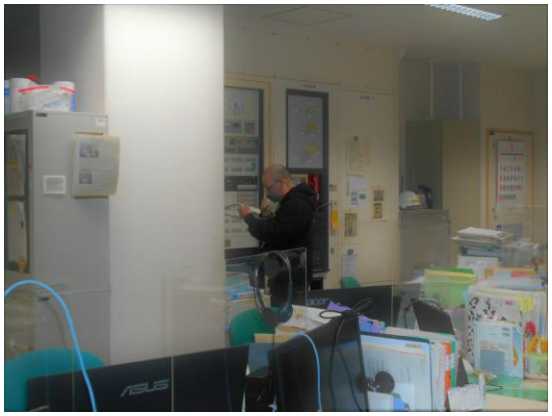
令和５年 11 月 30 日
仙台市若林障害者福祉センター

去る令和５年１１月 17 日(金)、当センターにて今年度２回目の防災訓練を実施し、センター職員の他、貸館利用者を含む 29 名が参加しました。

今回は、夕方の訓練とし、午後４時３０分頃に１階喫茶より火災が発生したことを想定して訓練を行いました。訓練火災発生の非常ベルが鳴動後、避難誘導の館内放送および模擬通報訓練、消火訓練を実施し、全員避難しました。

その後、防災業者より非常用放送設備機器の使用方法を習得した他、全職員で配置図を基に館内外の消火器の設置場所を回って確認しました。

今後も様々な災害を想定した訓練を行い、迅速に対応できるよう体制強化に努めてまいります。



～参加者の声～

- 訓練を定期的に行うことで、日頃の意識を改めたり、避難誘導経路や消火器の場所を知ることができた。記憶は低下してしまうので、定期的な訓練の重要性を実感した。
- 避難誘導担当の方の声が落ち着いていたので安心して行動することができた。
- 消火器や担架の場所を全員で確認することが出来て良かった。
- 以前にも放送設備を使用したが、今回使い方を忘れており、訓練の大切さを認識した。